

人と自然が輝く水源の郷



20180316

## 新校舎で、初めての道志小花まる卒業式

- 定例会（平成30年度一般会計予算）…………… P 2
- 議案等の質疑（道志村副村長の設置は）…………… P 5～6
- 一般質問（4人が問う）…………… P 7～11
- あの一般質問は・今（コンビニ施設の確保について）…………… P14
- 紹介（池谷 実）／がんばる人紹介（中垣勝弘）…………… P15～16

みなさまの声を議会に

TEL : 0554-52-2112 FAX : 0554-52-2572 E-mail : gikai@vill.doshi.lg.jp

# 3月 定例会

## 副村長の設置と関係条例を議決

3月定例会は3月7日から16日まで開催され、条例制定（4件）、条例改正（13件）、条例廃止（2件）、指定管理者の指定（4件）、29年度一般会計補正予算、特別会計補正予算（計7件）、30年度一般会計予算、30年度特別会計予算（計7件）、合計39案件を審議し、原案通り可決承認しました。

今回は初日に4人の議員が一般質問を行い村政の考えを問い、3日目には条例の制定と補正予算の可決、最終日にはその他の議案、合計39議案と2件の人事案件を審議し可決しました。

### おもな審議事項

#### ●平成29年度一般会計補正 9084万円を減額、総額20億684万円で議決

おもな財源 (補正分)	・村 税 (村民税、固定資産税、入湯税、他) ……………	318万円
	・国庫支出金 (国庫負担金、国庫補助金、他) ……………	△1026万円
	・県 支 出 金 (県負担金、県補助金、他) ……………	△6650万円
	・村 債 ……………	3440万円
おもな使いみち (補正分)	・総 務 費 (情報通信施設管理費、電子計算機費、他) ……………	△1653万円
	・民 生 費 (介護基盤整備事業、障害者福祉費、他) ……………	△1億1902万円
	・農林水産業費 (中山間地域所得向上支援事業、林業振興費、他) ……………	6124万円
	・教 育 費 (道志小中学校管理費、体育振興費) ……………	△842万円
	・諸 支 出 金 (基金費) ……………	2430万円

#### ●条例制定、改正を議決

**条 例 制 定 4 件** 副村長の定数を定める条例、副村長の設置に伴う関係条例の整備に関する条例、いじめ防止対策推進条例、他

**条 例 改 正 13 件** 国民健康保険条例の一部を改正する条例、道志村課設置条例の一部を改正する条例、他

#### ●指定管理者の指定を議決

- ・道志の湯及び農林水産物処理加工施設豆腐加工所の指定管理者を決定（期間3年間）
- ・道志村福祉センターと道志水源の森の指定管理者を決定（期間3年間）

#### ●平成29年度特別会計補正

- ・年度末で予算執行決定に伴う件が主で全て議決

#### ●平成30年度一般会計予算、総額19億5500万円で議決

おもな財源	・村 税 ……………	1億9203万円
	・地方交付税 ……………	9億4858万円
	・県 支 出 金 (県負担金、県補助金、委託金) ……………	5602万円
	・寄 付 金 (一般寄付金、どうし森づくり基金寄付金) ……………	1億4553万円
おもな使いみち	・総 務 費 (サテライトオフィス誘致事業費、他) ……………	5億1426万円
	・民 生 費 (社会福祉総務費、老人福祉費、他) ……………	2億5584万円
	・土 木 費 (住宅建設費、道路維持費、土木総務費 他) ……………	2億1927万円
	・教 育 費 (義務教育振興費、学校維持費、他) ……………	1億7937万円

#### ●平成30年度特別会計予算7会計を議決

#### ●同意

- ・道志村副村長の専任について
- ・道志村教育委員会教育長の任命について

## 平成30年度 一般会計予算

情報通信施設管理費  
1億6150万円など

# 19億5500万円を可決

### 平成30年度 一般会計予算の主な事業は

総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公有財産管理事業 1645万円</li> <li>● 情報通信施設管理事業 1億6151万円</li> <li>● 防災行政無線管理事業 683万円</li> <li>● 災害対策事業 337万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報システム事業 1776万円</li> <li>● 消防団施設管理事業 365万円</li> <li>● 消防団活動事業 960万円</li> </ul>
ふるさと振興課	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 横浜市道志情報館事業 1455万円</li> <li>● 移住・定住促進事業 713万円</li> <li>● 通学支援実証運行事業 993万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共交通対策 1008万円</li> <li>● 創業支援事業 100万円</li> <li>● サテライトオフィス誘致事業 1887万円</li> </ul>
住民健康課	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会福祉協議会運営事業 1243万円</li> <li>● 障害者自立支援介護給付事業 2280万円</li> <li>● すこやか子育て医療費助成事業 513万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 重度心身障害者医療費助成事業 830万円</li> <li>● 予防接種事業 464万円</li> <li>● 結婚相談事業 129万円</li> </ul>
産業振興課	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般廃棄物処理事業 5573万円</li> <li>● 農業基盤整備促進事業 1210万円</li> <li>● 橋梁長寿命化修繕事業 1040万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 村営住宅建設事業 4660万円</li> <li>● 林道改良事業 702万円</li> <li>● 地域おこし協力隊事業 1237万円</li> </ul>
教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 村単教員設置事業 1552万円</li> <li>● 学校スクールバス委託事業 3278万円</li> <li>● 小中学校整備事業 648万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● JETプログラム推進事業 449万円</li> <li>● 学校給食事業 2216万円</li> <li>● 入学祝金支給事業 105万円</li> </ul>

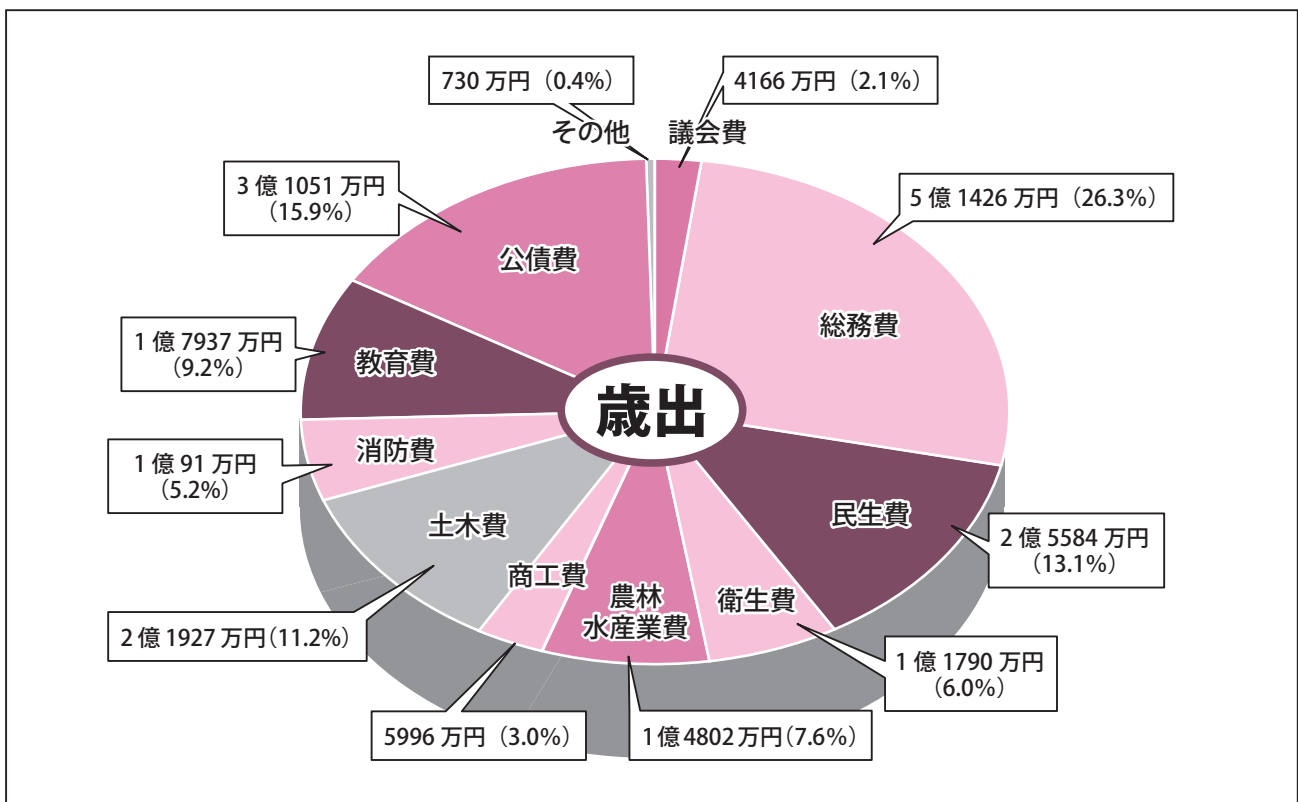
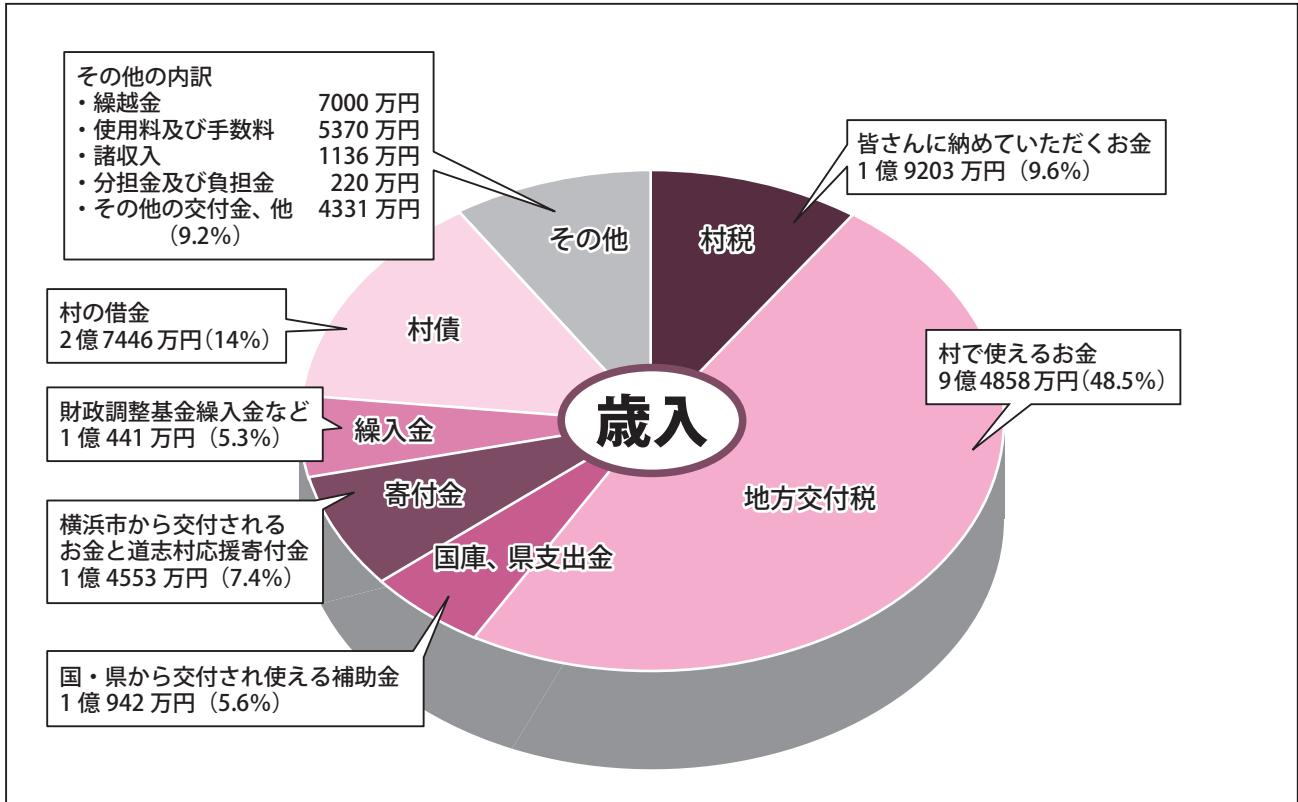
### 平成30年度 特別会計予算は

会計名	平成30年度予算	平成29年度予算	前年度比
国民健康保険	3億118万円	3億4534万円	△12.8%
国民健康保険診療所	1億1627万円	1億1929万円	△2.5%
簡易水道事業	9856万円	6607万円	49.2%
介護保険	2億467万円	2億1084万円	△2.9%
介護保険サービス事業	59万円	138万円	△57.4%
浄化槽事業	1億978万円	1億1351万円	△3.3%
後期高齢者医療	4704万円	4466万円	5.3%
合計	8億7808万円	9億109万円	△2.6%

# 平成30年度 一般会計予算

## 前年度比

プラス  
2.1%



※ 数値は万円単位に調整してあります。



# QA 議案等の質疑

本定例会で行った、協議会での質疑の一部を紹介します。

今会期中、7日間全員協議会を行い、合計39件の議案と2件の人事案件を協議しました。

道志村副村長の定数を定める条例では、村当局からの説明に対し多くの質疑応答ののち本会議での採択となり、質疑、反対討論（1名）、賛成討論（2名）の後、採決を行い、賛成5、反対4で可決しました。また、最終日の副村長の人事案件についても同様の結果にて可決しました。

尚、その他の案件については、全て全会一致にて可決しました。

## Q 副村長の定数を定める条例は

● どうして副村長をおくのか？

**A** 国・県の動向をいち早く捉えるとともに、地域を超えた自治体との交流、連携強化のために副村長を置くことが、地域振興に繋がる。

## Q 道志の湯の料金改定

● いつから、何のために、料金は？

**A** 平成30年4月1日から実施。原材料の高騰等によるため。尚、平日限定券は11枚から13枚になります。

改定後の利用料金			
村民	大人	1日	500円
	子ども・老人・障害者	1日	350円
村民以外	大人	1日	700円
	子ども・老人・障害者	1日	550円

## Q サテライトオフィス誘致事業は

● 誘致構想は？

**A** 本年度はお試しを兼ねたサテライトオフィスを1件整備予定。PRや企業とのマッチング案内をする「誘致コンシェルジュ」に支援業務を委託。住民からもパブリックコメントを公募し誘致事業に反映していく。

# QA 議案等の質疑

## Q 通学支援実証運行事業は

●高校生の送り迎えは？

**A** 中高生の父兄を対象に実施したアンケート結果を踏まえて、国の補助事業（100%補助）を導入し、本年度9月から試験運行を実施予定です。試験運行では、高校生の通学と通塾の復路のみ（大月、富士吉田から各1便）の支援を行う予定で、時刻等の詳細は試験運行の中で検証していきます。

## Q ふるさと創生推進室をふるさと振興課へ

●ふるさと振興課の業務内容は？

**A** これまで、ふるさと創生室で行っていた人口減少対策事業に加え、サテライトオフィス誘致事業、公共交通対策事業、広聴広報、情報通信事業、オリンピックへの対応など新たな政策課題の解決から村内外への情報提供までを一元化して行きます。効率的でスマートな行政運営を目指します。

## Q 国民健康保険制度改正は

●平成30年度から都道府県において運営を行う内容は？

**A** 国保制度改正に伴い、今後の運営は、「山梨県国民健康保険運営方針」に基づき運営していきます。算定方式として、資産割を除く所得割・均等割・平等割の3方式の課税を目指しています。健全で安定的な運営をしていくために国、県において激変緩和措置として財政支援を6年間行い、今後は資産割を2年で廃止し、保険料から保険税への変更を検討しています。

## 3月定例会一般質問一覧

### ■ 佐藤 一仁 議員

1. 公共交通に対する検討結果は
2. 道志の湯の今後の経営対策は
3. 県道都留道志線防災トンネルの進捗状況は

### ■ 山口 博康 議員

1. 公共工事の早期発注は
2. 野原～月夜野間トンネルの現状は
3. 青根地区の道路改良の状況は

### ■ 佐藤 和彦 議員

1. 子育て支援策の公共交通は
2. サテライトオフィスの受け入れ態勢は

### ■ 佐藤 進 議員

1. ふるさと納税の取り組みは
2. 東京オリンピック自転車ロードレースに対する村の取り組みは

一般質問  
ここが聞きたい  
村政を問う

### 4人の議員が質問

- ・ 本文掲載は要旨のみです。
- ・ 再質問は議事録で閲覧できます。
- ・ 議事録は議会ホームページで5月中旬ごろ閲覧できます。

### 議会を傍聴しませんか

- ・ 次回定例会は6月に開催します。
- ・ 傍聴の定員  
本会議10人（席の都合上）
- ・ 3月定例会の傍聴実績  
本会議7人

・ 問い合わせ 議会事務局

☎ 0554-521112

※一般質問の形態・方法が変わりました。平成28年9月定例会から一問一答方式を試行的に行っています。

# Q 公共交通に対する検討結果は

# A 高校通学の復路について実証運行を実施する



**佐藤**  
公共交通の維持・充実  
に対する検討結果は

**総務課長**

昨年11月、中高生の保護者を対象にしたアンケート調査の結果は、高校通学の復路について不便を感じるとの意見が多いため、平成30年9月ごろから、富士吉田方面、都留、大月方面の実証運行を行う予定です。

**Q 商工業の振興について商工会との連携は、また、補助金の推移は**

**A 中小企業のための経営発達支援計画を策定**

**村長**

平成29年度、村からの運営補助金を利用して、小規模事業者支援強化に向けた経営発達支援計画

を策定しました。また、7件21万円の利子補給事業を支援しています。商工会運営補助金は前年より50万円増額しています。

**Q 観光産業の振興について観光協会との連携とその考えは**

**A 観光協会と共に道志村農泊実施協議会を立ち上げて受け入れ態勢を充実**

**村長**

観光産業の振興のため、平成29年度関係者共同で「道志村農泊実施協議会」を立ち上げ、その充実を図っています。

また、交流事業の推進は、みなもと体験館、子ども農山漁村地域協議会を中心に観光協会と行政が一体となり交流人口の増加を図っています。

**Q 道志の湯は、本年度900万の赤字を見込んでいるが、今後の対策は**

**A 料金改定、食堂の充実、サービスの向上を図り経営の改善に努める**

**村長**

道志の湯は、村民の福利厚生施設の役割も大きく、経営の安定は重要課題です。

平成30年度は、利用料金改定、食堂の充実、窓口サービスの向上を図り経営の改善に努めます。

**Q 県道都留道志線防災トンネル事業化に向けた進捗状況は、また、期成同盟会の開催は**

**A 村の強靱化計画にも位置付けており都留市と協議を進める**

**村長**

県としては、平成30年度、富士北麓地域の道路ネットワーク検討会を設置する中で協議していく予定になっています。また、早期実現のためにも、現在進めている国道413号、道志バイパスの完成を優先していることが示されています。村としては、都留市と協議を進め要望していきます。

(再質問あり)





# Q 公共工事の早期発注は A 県の担当部署と相談



**山口**  
公共工事の早期発注の  
対応は

**村長**

国や県から補助金を受ける事業は、補助金決定を待ってからの着手となるので、その後設計・積算を行い、工事発注が10月以降になることが大半です。村単独事業でも土地交渉や設計積算などで工事発注が遅れてしまう事例が多く発生しています。

工事の発注時期の偏りにより入札への影響や完成時期の遅れが予想されるので、県の担当部署と相談し、事務手続きの簡素化などを町村会経由で要望していきます。

**Q 野原〜月夜野間トンネルの、県による用地交渉の進捗状況は**

**A 慎重に打ち合わせ**

**産業振興課長**

県が直接実施していることや個人情報に関わる内容ですので詳細についてはお答えできませんが、村の重要な事業ですので県と慎重に打ち合わせをしながら進めています。

**Q 工事着工後湧水の利用は**

**A 特に考えていない**

**産業振興課長**

他のトンネル工事現場の事例を見ても湧水があることは十分考えられます。場所や量などにより対応も変わるとは思いますが、現時点では湧水に対する対応について村では特に考えていません。

**Q 青根地区横山トンネル**

**ルの早期完成と道路改良について相模原市へ村としての要望は**

**A 早い時期に要望**

**村長**

青根から青野原までの国道413号の改良について、観光客の大半が利用していることや相模原方面に出かける村民の方

も多いので関心も高く、村としても改良計画のスケジュールは把握しておく必要性を感じています。

国道413号全体の現状と進捗状況を共有する意味も込めて神奈川県側を担当している相模原市と、早い時期に要望や意見交換の機会をつくりたいと考えています。

(再質問あり)



# Q子育て支援策の公共交通は A通学支援実証運行事業を導入



かずひこ  
佐藤和彦 議員

佐藤

高校生の通学や、学習塾の送迎について、二一ズ調査やアンケート調査の結果と対応は

総務課長

昨年、11月に中高生の父兄を対象に実施したアンケート結果の対策は、今年度、国の補助事業である「通学支援実証運行事業」を導入して、試行運行を行いたいと考えています。

予算については、平成30年度予算案に、車両のリース代440万円と運行の委託費440万円を計上しています。

委託方法や、運行ダイヤ等は、検討しながら平成31年本格運行を目指したいと思います。

Q サテライトオフィス構想の誘致企業の決定

は、業種によっては事務所形態も変わってくるが受け入れ態勢はできているのか

A 構想書を基に

総務課長  
昨年の11月に公募型プロポーザル方式により業者選定を行い、「株式会社あわえ」にサテライトオフィス構想の策定支援業務を委託しており、3月中に構想書を完成させる予定です。

ハード整備としては、神地地区にある交流活動センターをモデル施設として考え、平成30年度当初予算に予算要求をしています。

また、ソフト面として、企業と道志村をマッチングするための業務にも同様に予算要求をしています。

「受け入れ体制はでき

ているのか」ということですが、業者を中心に、幅広い業種の方と協議を行っていきたいと考えて

おり、構想書を基に受け入れ態勢も整えていく予定です。

(再質問あり)



完成した道志村サテライトオフィス誘致構想書

# Q ふるさと納税の取り組みは A 対前年度比では増



すずむ 佐藤 議員

## 佐藤 本年度ふるさと納税の 取り組みと実績は

村長

平成28年11月より楽天市場のふるさと納税サイトへ出店しています。

出店前の平成27年度の実績は、14件で29万円でしたが、出店後の平成28年度の実績は、50件で69万5千円、今年度は2月末現在ですが、60件で76万1千円となっています。

対前年度比でみると件数で20%、金額で10%の増となっています。

Q 東京オリンピック自転車ロードレースについて、どのように取り組んでいるのか

A 県、山中湖村とも連携し取り組む

村長

東京都の調布市をスタートし、富士スピードウェイをゴールとすることが決定したと報じられています。

ただ、ルートについては、UCI（国際自転車協会議連合）が現地踏査の上IOCと協議を行い今後決定することになると思います。

世界最大級のイベントなので、非常に高い見地での調査を経て、正式決定が行われることになり、現在は、この推移を、期待を持って見守っています。

これが実現すると、地域のブランド化が図られ、地域振興に繋がるものと思います。

想定の中での準備ですが、県・山中湖村とも連携を図り、同一歩調で進めることを話し合っています。



自転車ロードレース風景

景観の整備、応援スポットの設置、ボランティアの取りまとめなど、今後対応が必要と考えています。

（再質問あり）



# 動 報 告

## ●第 33 回山梨県市町村自治講演会

平成 30 年 2 月 6 日

公益財団法人山梨県市町村振興協会の主催、山梨県町村会他の後援により自治会館にて行われ、本村から 3 名が出席しました。講師は社会活動家・法政大学教授の湯浅誠氏で「子どもの貧困」と題し「子どもを真ん中においた地域づくりを」がメインテーマで語られました。貧困は所得に関係なく自信がない、つながりがない等現在は 7 人に 1 人の子どもが該当するそうです。対策としては、地域に開かれた交流の場所が必要とされ始めています、その一例として全国に広がる「子ども食堂」は約 1000 店を数え多くの地域でその意識が動き出しています。



自治講演会の様子

## ●小中学校教諭を対象にアンケート実施

平成 30 年 2 月 13 日

総務文教常任委員会では、平成 29 年 11 月 27 日に「1. 一体型校舎で送る学校生活の問題 2. 一貫教育に向けての考え方 3. 特徴ある教育 4. その他」についてアンケートを実施し回答書を平成 29 年 12 月 11 日頂きました。結果の中には、小中連携について、小中合同マラソン、強歩大会や小中交流給食、レクリエーション等の行事を行う中で、児童、生徒や教職員同志の距離感も近くなっているとの回答もありました。また、共用部分の使用時間、校舎の不具合等を総務文教常任委員会では、アンケート回答の意見の調整を行い、今後道志村の教育環境の充実や小中学校教育活動に反映できるように、関係者と意見交換をしていきたい。

## ●山梨県町村議会議長会「議員セミナー」参加

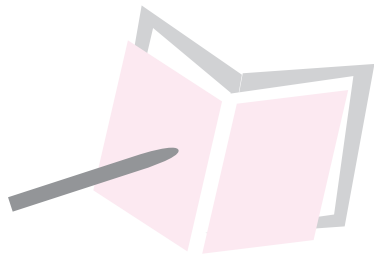
平成 30 年 3 月 23 日



鳴沢村でのセミナー

鳴沢村、山道ホールにおいて、開催された、第 4 回議員セミナーに議員 6 名で参加しました。山梨学院大学大学院研究科長・法学部政治行政学科教授、江藤利昭氏による山梨県町村議会における課題、小規模市町村をめぐる最近の動向と課題、なり手不足、町村総会、夜間・休日議会、議員報酬、政務調査費等実際に取り組んでいる全国各地の例を紹介した講演がありました。小規模自治体である、道志村議会は身近な問題として捉える必要があり、江藤先生の研修会は充実した内容でした。





# 議会活

## ●平成 29 年度議会提言書を村に提出

平成 29 年 12 月 14 日

建設厚生常任委員会に於いて、村内危険箇所、住民要望など調査を行い 11 項目の要望を長田村長に提言し受理された。内容においては、西和出村数雲塚国道からの進入路の改築と防護柵設置、善之木三ヶ瀬線水路新設、池之原橋の拡幅耐震などを要望した。



提言書の提出

## ●山北町議会・道志村議会交流会

平成 29 年 12 月 14 日



工事担当者からの説明

山北町役場において、山北町議会との交流会が行われ全員で参加しました。山北町では、平成 32 年度開通予定の新東名高速道路と同時開通予定の「仮称山北スマートインターチェンジ」の実現への経緯及びその周辺工事について、山北町新東名対策室長藪田孝宏氏より説明がありました。その後平成 9 年国道 413 号と県道 76 号を結ぶ路線の開設協力要請を行った経緯と経過説明を、山口博康議員が行い、これを機に交流会を継続して行くことを決めました。また、スマート IC 建設現場に行き、工事の進め方、建設方法など、最新技術の説明を受けました。

## ●道志村まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議

平成 30 年 1 月 16 日

第 4 回総合戦略会議を、総合戦略推進委員 8 名と事案説明のための役場管理職 5 名、事務局山口次長ほか 2 名、総勢 16 名で開催しました。

本事業は平成 27 年度から実施し 5 ヶ年計画の折り返し年度であり、なお一層加速させなければならない。77 項目の戦略項目の内、現在実施が 56 項目で実施率 75%、新規事業の「サテライトオフィス」



戦略推進会議の様子

誘致事業を追加し、道志村の活性化を図ると共に、移住者の増加も期待できる。

一方、子育て支援策での一時預かり保育の時間延長や、交通弱者への公共交通の在り方、移住者のための住宅建設の一部補助など、大変重要な事項において検討中であることなどから、今後も戦略会議・建設厚生常任委員会において継続して推進していきます。

# あの一般質問は今…

平成27年12月定例会

## 質問

コンビニエンスストアの設置は

## 答弁

村民の利便性からも必要な施設である。コンビニか、ミニスーパーがよいのか検討中である。

平成27年12月定例会

## 質問

地域おこし協力隊の確保は

## 答弁

平成25年度は5名の協力隊員を受け入れていました。平成28年度は活動が村の要望と一致する人を3名募集する予定です。

## その結果今は



- 第1次協力隊員（5名）  
村内定住4名、家族合計10名が定住
- 第2次協力隊員（3名）  
農業の6次産業化に取り組んでいます。  
村内定住3名、家族合計7名



村民の要望の多いコンビニ設置や既存店舗との関係、設置形態について検討中である。

## 議会の考え

人口減少対策の観点からも平成31年以降も継続するよう要望していく。

村民の要望の多いコンビニ設置を要望していく。

# 紹介 しょうかい

## (株) 道どうし

専務 池谷 実

株式会社どうしは、道

志村内で「道の駅どうし」

「道志の湯」「とうふ屋ほ

たる」の3施設、横浜市

保土ヶ谷区松原商店街で

「道志情報館水カフェどう

し」と、合計4つの施設・

店舗を運営しています。

「道の駅どうし」では、

農産物生産出荷組合の朝

採野菜やお漬物、道志の

食材を使った加工品「豆

腐屋ほたる」では、道志

産大豆と道志村の清涼な

水を使い作られた3種類

の豆腐や、おからドーナツ

ツが人気で、お客様から

好評をいただいています。

また、道の駅どうし手

づくりキッチンでは道志

産クレソンなどの食材を

活かしたメニューを出し、

お客様から喜ばれていま

す。

来年4月には20周年を

迎えます。全スタッフ22

名で今まで以上に皆様に

愛される道の駅を目指し

て頑張つてまいります。

「道志の湯」はスタッフ

7名で、平成24年4月よ

り当社で運営させていた

だいています。

リニューアル後薪を燃

料にした柔らかいお湯で、

村内外のお客様より、良

質な温泉として喜ばれて

います。

スタッフ一同村民の皆

様のご利用を心よりお待

ちしております。

「道志情報館水カフェど

うし」は、スタッフ3名

で水源地道志村の魅力を

横浜市の皆様にアピール

し、特産品の販路拡大観

光案内や誘客、地域間交

流・地域情報発信・田舎

暮らし・UJITターンを

案内する総合拠点として、

平成28年9月にオープン

しました。

株式会社どうし、全ス

タッフ34名で道志村に貢

献できるよう、全力で努

力してまいりますので、

村民の皆様のご協力とご

指導を心よりお願いいた

します。



道の駅どうしスタッフ



# がんばる人紹介

## 地域が元気でいてほしいと想う



フォレストファーム  
代表 中垣 勝弘

風光明媚で水と空気に恵まれた道志村神地（神の地）を。パワースポットと感じ、アドベンチャーファミリーのごとく家族4人で移り住み、地域住民の温かさ、ゆっくり流れる時間に魅了され、クレソン栽培をはじめました。

フォレストファーム（森の農園）と名付け1986年創立。寒冷地であるため夏秋良品産地ですが、周年栽培をするためと苗保存のため、富士山のまわりにクレソン圃場を32年かけて増やしてきました（2002年有機JAS認証取得）。

現在は格付担当者4名を含む、10名程のスタッフと共に、8地域で生産し多くは2つの生活協同組

合（SDGs受賞し環境や資源を保全し、持続可能な進化を目標とし優れた取り組みを行う企業・団体）及びこだわりレストラン、直売所で販売、地球の上で元気に楽しく活動し遊ぶためには何より、地球そのものが元気でいてくれる事が前提で地球が劣化しなくて、自然からのシッペ返しが無い様に、自然に勝たない農業で環境に負荷をかけず拮抗・共生を重んじる事を心がけガンバリ続けます。



体を元気にするクレソン摘み体験・料理教室

## 写真募集中（議会だよりに掲載させていただきます。）

### 編集後記

記録的な寒さの続いた冬も、梅の花の開花と共に緩んできました。会期10日間の3月定例会は、「道志村副村長の定数を定める条例」を含めた39の議案を審議、可決し終了しました。今回の議会において、私達議員も2年が過ぎ、折り返し地点に入り、長田村長2期目と共に、村民に真価を問われる時期になりました。議員一人一人が村民の声に耳を傾け、現状を把握し議会活動に邁進して行きま

す。  
議会だよりにおいても、村民の皆さんに分かりやすく、読みやすい、を心掛け編集していきますので、宜しくお願いします。

（佐藤進）

### 広報常任委員会

委員長 菅谷 政文  
副委員長 佐藤 長久  
委員 杉本 孝正  
委員 佐藤 進